

EC-2100 エレベータ速度計
簡易操作手順書

はじめに

本書は、エレベータ速度計 EC-2100 について記載した取扱説明書です。

エレベータ速度計 EC-2100 は、本書に記載されている指示に従って、正しい手順で取り付けてください。間違った方法や手順でエレベータ速度計 EC-2100 を取り扱くと、エレベータ速度計 EC-2100 の性能が正常に発揮できないだけでなく、破損や落下、あるいは機器の誤動作などの原因にもなります。ご注意ください。

目次

安全にお使いいただくために	3
1. 概要	7
1.1 概要	7
1.2 特長	7
1.3 製品構成	7
2. 各部名称と機能	8
3. 設定モード解説	11
3.1 電源スイッチ	11
3.2 設定モード	11
3.21 単位設定	12
3.22 保存データの読み出し	12
3.23 アナログ出力フルスケール設定	13
3.24 平均処理回数の設定	14
4. エレベータの計測	15
4.1 準備	15
4.2 基本計測	16
4.21 速度の計測	16
4.22 回転速度の計測	16
4.3 計測値をホールドする	17
4.4 最大値を表示する	18
4.5 計測値を保存する	18
4.6 保存データの読み出し	18

5. エスカレータの計測（オプション）	19
5.1 概要	19
5.2 準備	19
5.21 周速リングの取り付け	19
5.22 トリガ装置の接続	19
5.3 基本計測	20
5.31 単位の設定	20
5.32 計測方向の設定	20
5.33 計測の開始・停止	21
5.4 計測値を保存する	22
5.5 保存データの読み出し	22
6. 仕様	
6.1 計測部	23
6.2 検出部	23
6.3 表示部	23
6.4 アナログ出力部	23
6.5 パルス出力部	24
6.6 一般仕様	24
6.7 付属品	24

安全にお使いいただくために

エレベータ速度計 EC-2100 を安全に正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ず本章および本書に記載されている警告および注意事項をご確認ください。

また、エレベータ速度計 EC-2100 をご使用になるときは、本章および本書に記載されている指示に従って操作してください。

なお、本章および本書に記載されている警告および注意事項の指示に従わず操作した結果生じた損害や障害については、(株)小野測器は責任と保証を負わないものとします。

■ 安全にかかわる表示について

ここでは、エレベータ速度計 EC-2100 を安全に使用するための表示について説明しています。

エレベータ速度計 EC-2100 で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。

それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 警告	指示を守らないと、人が死亡する、または重症を負う恐れがあることを示します。
 注意	指示を守らないと、火傷やけがなどを負う恐れや物的損害を負う恐れがあることを示します。

危険に対する注意および表示は、次の 3 種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

記号	定義	意味	記号例
	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生する恐れがあることを表します。 記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	
	行為の禁止	記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為に内容を図案化したものです。 この記号は行為の強制を表します。	
	行為の強制	この記号は行為の禁止を表します。 記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	

■ 本書および警告ラベルで使用する記号とその内容

● 注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。

● 行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷など傷害のおそれがあります。
	特定しない一般的な禁止を示します。

● 行為の強制

	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
--	--

エレベータ速度計 EC-2100 を安全に正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ず本章に記載されている警告および注意事項をご理解し、より安全にご活用ください。

■ 取扱い上の注意事項

警告

	ガスや蒸気のある場所では機器を動作しないでください。 可燃性または爆発性のガスや蒸気のある場所で機器を使用すると爆発の恐れがあり危険です。
	使用温度範囲を超えた高温の場所で使用しないでください。 使用温度範囲を超えた高温の場所で使用すると機器が発火する恐れがあります。
	放熱を妨げないでください。 内部に熱がこもると火災の原因になります。また、機器は壁から離し、できるだけ風通しのよい場所に設置してください。
	水をかけたり濡らしたりしないでください。 ショートや発熱により火災や感電の原因になります。万一、機器に水が入ったときは、すぐに電源を切り、できるだけ早くお買い求めの当社販売店またはお近くの当社営業所までご相談ください。
	機器は絶対に解体または分解しないでください。 解体または分解した状態で使用すると、故障や感電などの事故の原因になります。内部の調整や点検、修理はお買い求めの当社販売店またはお近くの当社営業所までお申し付けください。

■ 電源についての取扱いと注意事項

警告

	機器の電圧や電流出力部に接続された回路に手を触れるときは、電源が OFF になっていることを確認してください。
	機器の電源が ON のまま回路に手を触れると感電の原因になります。 なお、出力電圧および電流に十分耐えるよう回路の絶縁も施してください。

■ 電源の投入時における注意事項

警告

	雷が鳴ったら、機器の金属部やプラグには触れないでください。誘電雷により感電する恐れがあります。
	煙や異音、異臭が出たり、落下、破損したときは電源を切ってください。 そのまま、使用すると火災や感電の原因になります。できるだけ早くお買い求めの当社販売店またはお近くの当社営業所までご相談ください。

■ 配線に関する注意事項

 **警告**

		ぬれた手で配線しないでください。 ぬれた手で配線すると、感電するおそれがあり大変危険です。
---	---	--

■ CE マーキング・EMC 適合のための設置上の注意

 **注意**

	油煙や湯気のアたる場所、または湿度や埃の多い場所には設置しないでください。電気が油や水分、埃を伝わり、火災や感電の原因になります。
	極端に温度が高くなる場所や直射日光のアたる場所には設置しないでください。火災の原因になります。
	信号ケーブルは必要以上に延長しないでください。

1. 概要

1.1 概要

エレベータの調整・保守・点検用に設計された、小型軽量・電池内蔵のハンディタイプの速度計です。表示器を2つ備えており、ホールドすることで二つの計測タイミングの速度表示が行えます。本体を治具に固定するか外部検出器(EC-0201 別売)を用いることにより、点検作業を1人で安全に行う事ができます。

1.2 特長

- ・メモリ機能（10件の計測値の保存／読出）
- ・最大値ホールド機能（最大計測値を記憶）
- ・平均化機能（任意の回数での平均化が可能）
- ・アナログおよびパルス出力
- ・CEマーキングを取得（ノイズに強い設計）
- ・電池残量を確認可能（起動時に電池残量を表示）
- ・距離計測機能（オプション）

1.3 製品構成

梱包箱を開けたら、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

①本体（EC-2100）	1台
②単3形アルカリ乾電池.....	3本
③外部ホールド信号用ケーブル（EC-0922/1.4 m）	2本
④六角レンチ（周速リング固定用）	1本
⑤キャリングケース（EC-0925）	1個
⑥取扱説明書.....	1部

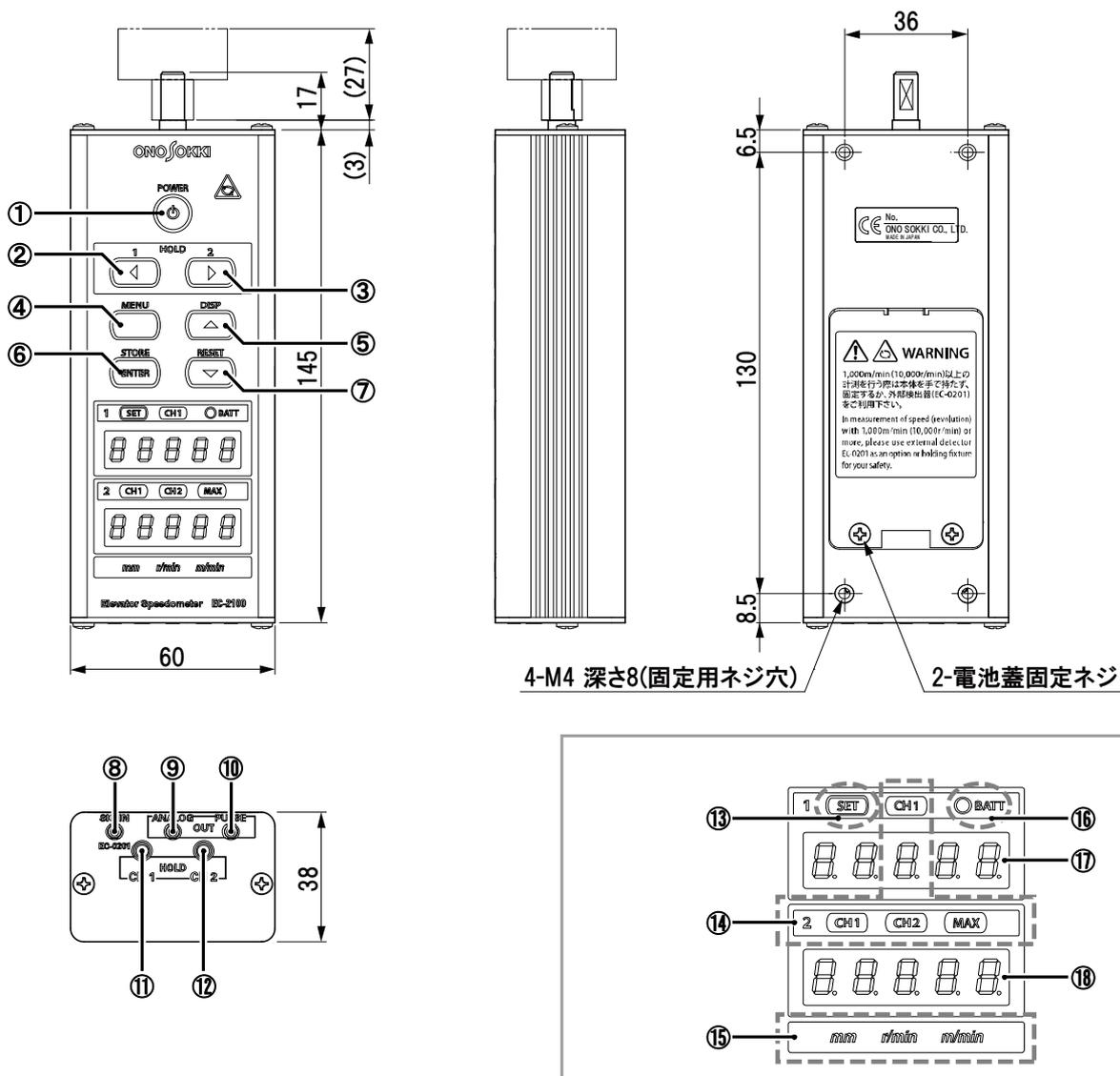
<p>① 本体（EC-2100）</p>	<p>② 単3形アルカリ乾電池</p>	<p>③ 外部ホールド信号用ケーブル （EC-0922/1.4 m2 本組）</p>
<p>④ 六角レンチ</p>	<p>⑤ キャリングケース（EC-0925）</p>	<p>⑥ 取扱説明書</p>

2. 各部名称と機能

エレベータ速度計 EC-2100 を使用する前に、各部の名称と機能をご確認ください。

※以下の説明は主に計測モードでの各スイッチの働きです。

設定モードの時に別の機能が割り振られているスイッチについては、各機能の後半で説明しています。



①POWER スイッチ

電源を ON/OFF します。

ただし、オートパワーオフ機能がありますので、3 分間何もしなければ自動で電源が切れます。

②CH1 ホールドスイッチ/左△

スイッチを押すとその時点の計測値をホールドして CH1（上段表示部）に表示します。同時に上段表示部上の“CH1”の LED が点灯します。

【設定モード時】

単位の選択、設定数字の桁など、点滅している部分を左方向へ移動します。

③CH2 ホールドスイッチ/右△

スイッチを押すとその時点の計測値をホールドして CH2（下段表示部）に表示します。同時に下段表示部上の“CH2”のLEDが点灯します。

【設定モード時】

単位の選択、設定数字の桁など、点滅している部分を右方向へ移動します。

④MENU スイッチ

設定モード、計測モードの切り替えスイッチです。

【設定モード時】

押した時点の設定項目を確定して計測モードに戻ります。

⑤DISP スイッチ/△

計測項目の切り替えスイッチです。

- ・速度/回転速度計測時：下段表示部の値が[CH2]→[MAX]→[瞬時値]と切り替わります。
ホールドされたデータが無い場合には[MAX]→[瞬時値]が交互に切り替わります。
- ・距離計測時：回転計測方向が[right]→[LEFt]と交互に切り替わります。

【設定モード時】

数字設定時に点滅している桁の数字を 0→1→2 の順番で加算します。

⑥STORE スイッチ/ ENTER

計測値を本体（EC-2100）へ保存します。

データは保存番号 01 から 10 まで順番に保存されます。

【設定モード時】

設定モード時には、押した時点の設定項目を確定するボタンです。

確定と同時に次の設定項目へ移行します。

⑦RESET スイッチ/▽

ホールドした上段（CH1）/下段（CH2）表示部の値および自動保存されている最大値を 0 へリセットします。

【設定モード時】

数字設定時に点滅している桁の数字を 0→9→8 の順番で減算します。

⑧SIG IN（EC-0201）

オプションの外部検出器（EC-0201）を接続します。

⑨ANALOG OUT

オプションのアナログ出力用ケーブル（AX-501）を接続します。

⑩PULSE OUT

オプションのパルス出力用ケーブル（EC-0923）を接続します。

⑪CH1 HOLD

付属の外部ホールド信号用ケーブルを接続して無電圧信号を入力することにより、CH1 ホールドスイッチの代わりに外部より CH1 の表示値をホールドする事ができます。

⑫CH2 HOLD

前項の⑪と同じ動作を CH2 で行います。

⑬設定モード表示部

MENU スイッチを押して設定モードになると点灯します。

⑭計測項目表示部

CH1、CH2、MAX の計測項目の内、現在表示されている項目部分が点灯します。

⑮単位表示部

mm、r/min、m/min の単位の内、現在計測中の単位部分が点灯します。

mm 表示は、別売（オプション）対応です。

⑯BATT LOW 表示部

電池の電圧が約 3.5V を下回るとランプが点灯します。点灯しましたら、電池交換が必要です。

⑰CH1 計測値表示部（上段表示部）

計測した結果を表示します。

⑱CH2 計測値表示部（下段表示部）

計測した結果を表示します。

3. 設定モード解説

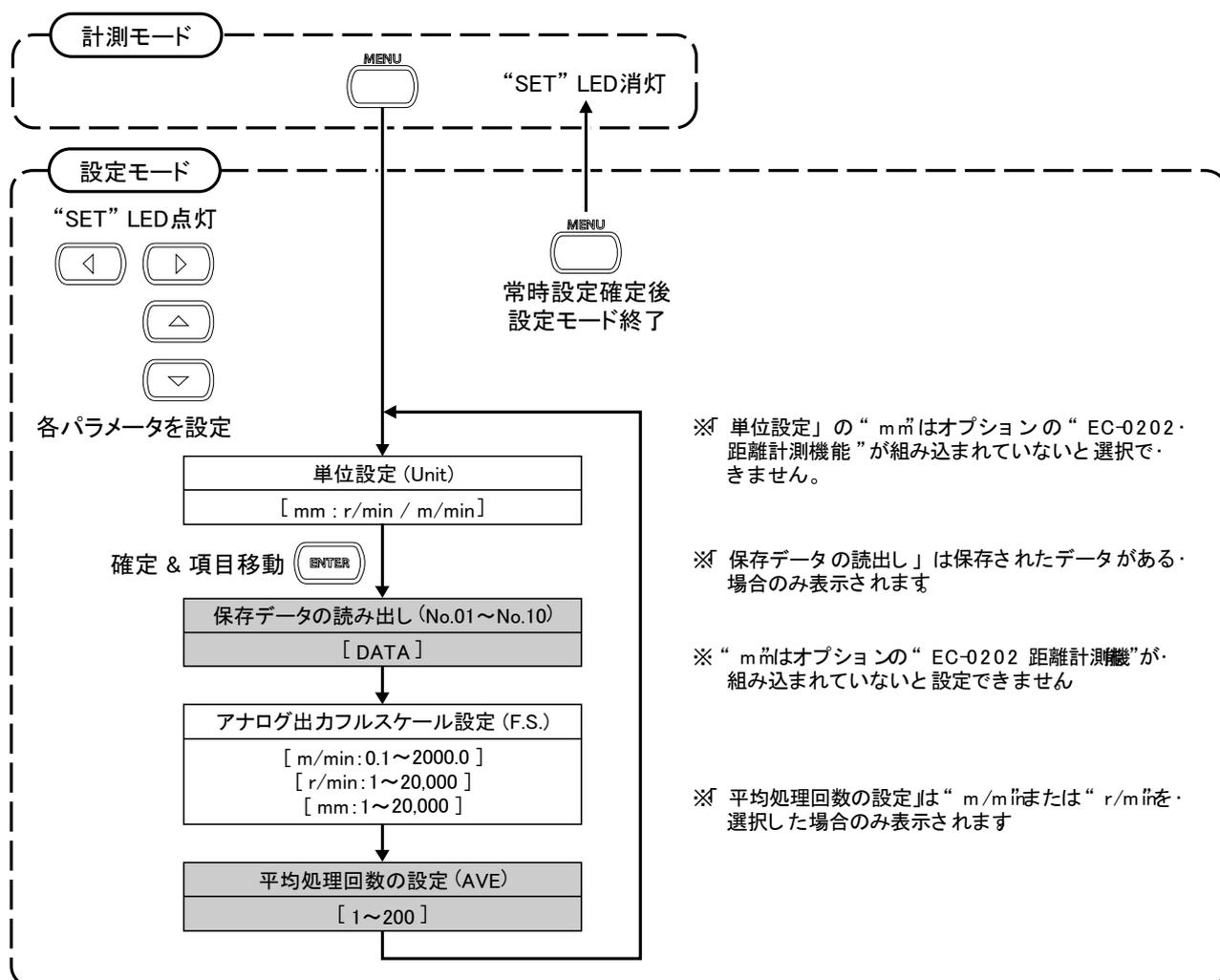
3.1 電源スイッチ

- ① “POWER” スイッチを押すと本体の電源が投入されます。
- ②電源投入時には上段表示部に“bAtt”、下段表示部に電池残量“-----”（残量が100%の場合）が約2秒間表示されてから、計測モードになります。
- ③ボタン操作や信号入力のない状態が3分間続くと、自動的に電源が切れて、無駄な電池の消耗を防ぎます。
- ④電源投入時には前回の使用状態により、“r/min”または“m/min”の単位が選択されます（“mm”で使用していた場合は選択が解除されて“m/min”になります）。

3.2 設定モード

計測モードにおいて“MENU”スイッチを押すことにより、“SET” LED が点灯してパラメータ設定モードに切り替わります。

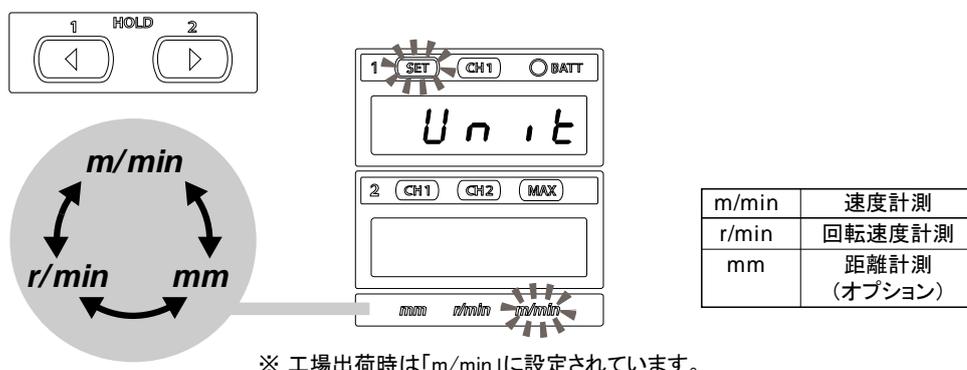
その後“左△ 右△”および“△ ▽”スイッチを使ってパラメータの設定を行い、“ENTER”スイッチを押して項目移動をするか“MENU”スイッチで計測モードに戻ると、設定内容が確定されます。



3.2.1 単位設定

上段表示部に“Unit”が表示された状態で、“左△ 右△”スイッチを押すと下段表示部下の単位が切り替わります。

使用する単位を表示させて“ENTER”スイッチを押して項目移動をするか“MENU”スイッチで計測モードに戻ると、設定内容が確定されます。

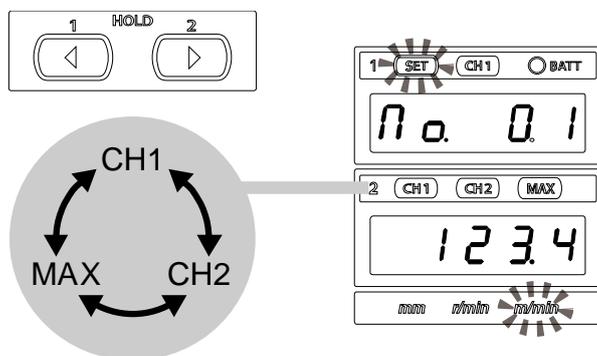


注) “mm”を選択するにはオプションの“EC-0202 距離計測機能”の組み込みが必要です。

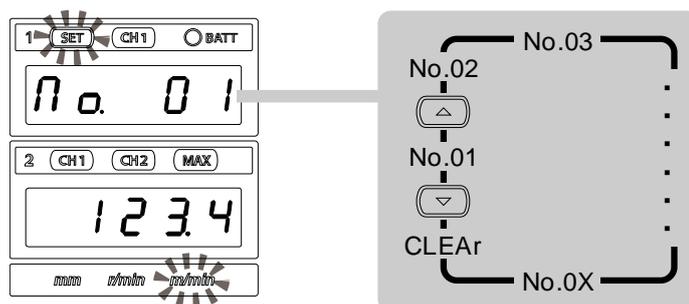
3.2.2 保存データの読み出し

保存されたデータがある場合にのみ上段表示部に保存番号、下段表示部に保存データが表示されます。

“左△ 右△”スイッチを押すことで、下段表示部に表示された保存番号の“CH 1” / “CH 2” / “MAX”の各値を切り替えることができます。

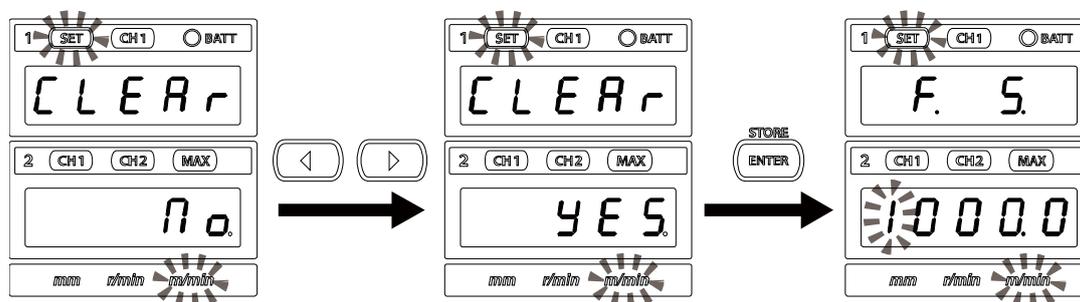


“△ ▽”スイッチを押すと、最大“No.01”～“No.10”までのデータ表示の選択ができます。



上段が“CLEAR”下段が“NO”の状態です。左△ 右△ スイッチを押すと、下段が“YES”に切り替わりますので、その状態で“ENTER”スイッチを押すと、保存されていたデータがすべてクリアされます。

“MENU”スイッチで設定モードに戻った場合には、保存データのクリアは行われません。

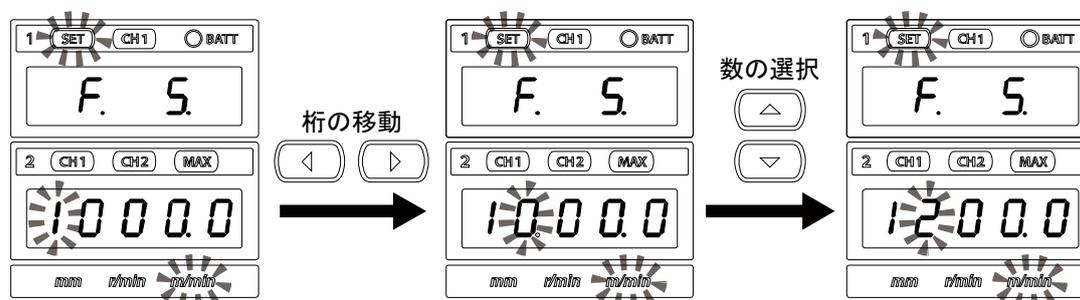


“YES”を選択した状態で“ENTER”スイッチを押すと、全ての保存データがクリアされて、次の設定項目であるアナログ出力フルスケール設定に移動します。

尚、保存されていない保存番号は表示されません。

3.2.3 アナログ出力フルスケール設定

上段に“FULL SCALE”を表す“F.S.”、下段に1Vを出力する時の値が表示され、最上位の桁が点滅します。”左△ 右△”スイッチで点滅している桁を移動させ、“△ ▽”スイッチで各桁の数字を選択します。



測定する単位によつてのアナログ出力の設定範囲は以下の通りです。

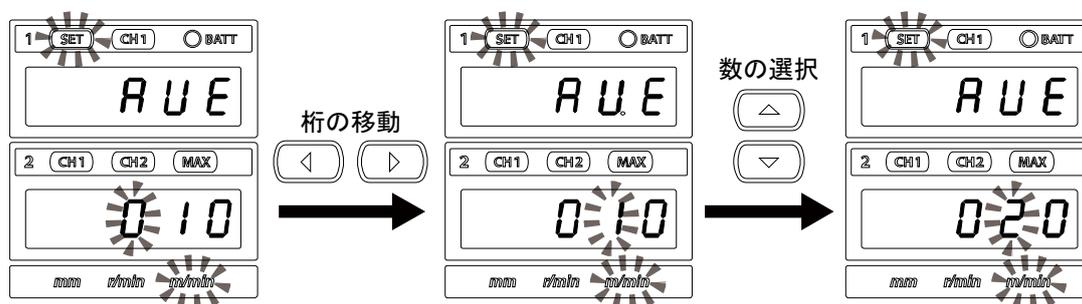
測定項目	F.S.設定範囲	出力電圧範囲(V)
速度計測	0.1~2,000.0	0~1
回転速度計測	1~20,000	0~1
距離計測 (オプション)	1~20,000	0~0.5~1 (-設定値~0~設定値)

※ 工場出荷時は「1000.0」に設定されています。

3.2.4 平均処理回数の設定

上段に“AVERAGE”を表す“Ave.”、下段に平均化処理を行う回数が表示され、最上位の桁が点滅します。

“左△ 右△”スイッチで点滅している桁を移動させ、“△ ▽”スイッチで各桁の数字を選択します。



測定する単位よっての平均回数の設定範囲は以下の通りです。

測定項目	平均回数設定範囲
速度計測	1～200
回転速度計測	

※ 工場出荷時は「010」に設定されています。

※ 距離計測時は設定無効です。

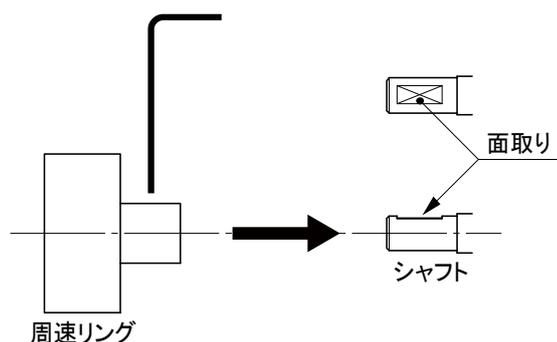
【注意】 0.1 m/min (1 r/min) の分解能を確保するためには、平均処理の回数を 10 以上に設定する必要があります。

4. エレベータの計測

4.1 準備

本体(EC-2100)へ周速リング(KS-400, KS-500, KS-0800)や回転接触子 (KS-300+EC-0924)などを取り付ける際は、各測定子をシャフトの奥までしっかりと差し込み、付属の六角レンチを用いてシャフトの面取り部分に対して確実に固定して下さい。

取付場所がずれていたり緩んでいると、計測中に外れてしまう可能性があり、事故の原因になります。



■ 速度測定の場合

エレベータの速度計測を行う場合には周速リング(KS-400, KS-500, KS-0800)を使用します。

接触部分の幅の違いや材質の違いで3種類を準備しておりますので、目的に応じてお選びください。



KS-400
(金属製広幅)



KS-500
(金属製狭幅)



KS-0800
(ゴム製広幅)

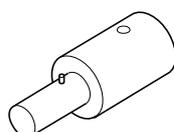
■ 回転速度計測の場合

モータの回転速度などを測定する場合には回転接触子 (KS-300) を使用します。

モータ軸のセンター穴などを利用して回転速度を計測します(必要に応じて EC-0924 延長シャフトが利用できます)。



KS-300
(回転接触子)



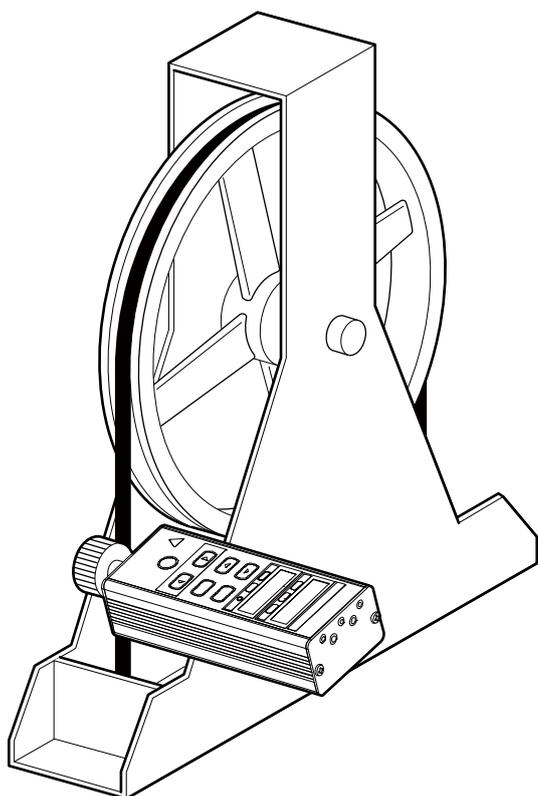
EC-0924
(延長シャフト)

4.2 基本計測

4.2.1 速度の計測

電源を投入し、単位を“m/min”に設定します。

周速リングをワイヤロープやプーリなどに押し当てて、速度を計測します。



- 回転している部分には絶対に手を触れないでください。回転部に手を巻き込まれると大けがをします。また、軍手など手袋や衣服も巻き込まれる恐れがあり、大変危険です、注意してください。
 - 1,000 m/min(10,000 r/min)以上の計測は、本体を手で保持した状態で行わないでください。本体または外部検出器(EC-0201 別売)を固定した状態で計測を行ってください。
- ※ 本体背面に固定用のネジ穴が用意されています。

4.2.2 回転速度の計測

電源を投入し、単位を“r/min”に設定します。

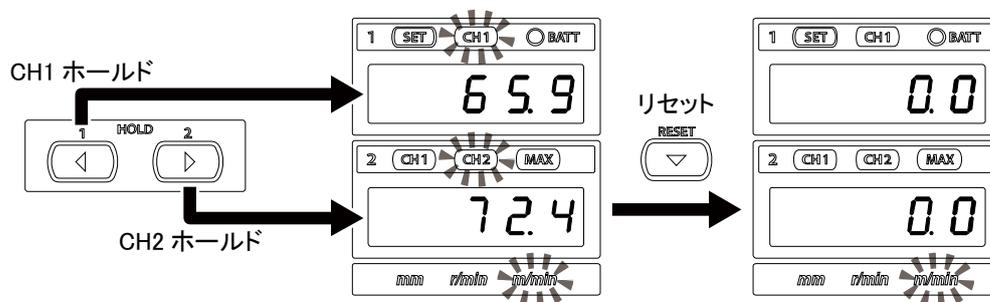
回転接触子をモータの軸端センター穴などに押し当てて、回転速度を計測します。

- 回転している部分には絶対に手を触れないでください。回転部に手を巻き込まれると大けがをします。また、軍手など手袋や衣服も巻き込まれる恐れがあり、大変危険です、注意してください。
- 回転速度の測定は、測定対象軸と回転接触子の軸芯が一致するように正しく押し当て、しっかりと保持してください。
- ご使用前に必ず回転接触子および周速リングを点検してください。ゴム部分が摩耗したものや、樹脂部分にひび割れの入ったもの、取付けがゆるくなったものは使用しないで、当社純正新品と交換してください。

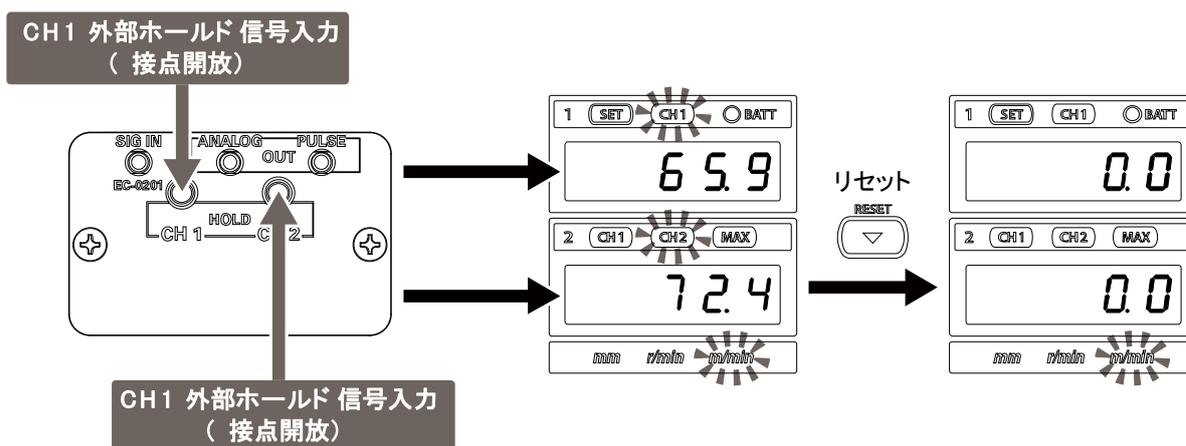
4.3 計測値をホールドする

本体（EC-2100）の“CH1” / “CH2” ホールドスイッチを押すと、計測値をホールドする事ができ、計測状態から離れても計測値の確認ができます。

ホールドされた計測値は“RESET”スイッチを押すことでクリアされます。



外部ホールド信号用ケーブルを使用する場合は、接点開放（OFF）でホールドになります。

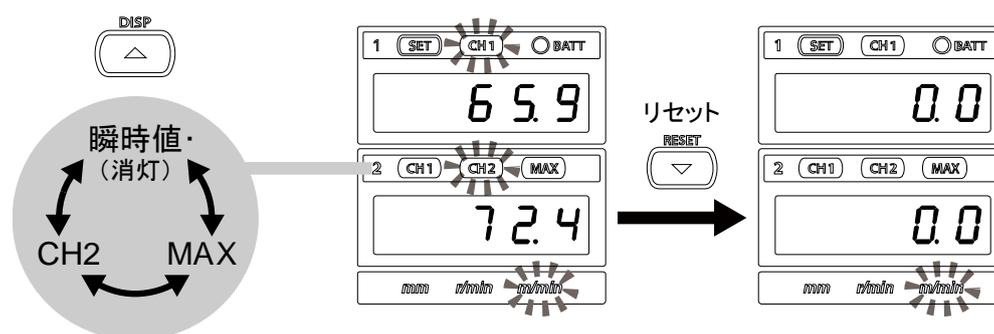


4.4 最大値を表示する

“DISP” スイッチを押すと、下段表示部の表示項目が CH2 (ホールド値) → MAX (最大値) → 瞬時値 (消灯) の順番で順次切り替わります。

ホールドされた CH2 の計測値が無い場合には、瞬時値 (消灯) → MAX (最大値) が切り替わります。ホールドスイッチの使用に係わらず、いつでも最大値は記録されていますので、“DISP” スイッチを押して“MAX” を点灯させた状態にすると、下段表示部に最大値が表示されます。

“RESET” スイッチを押すとホールドされた計測値を含めて最大値もクリアされます。

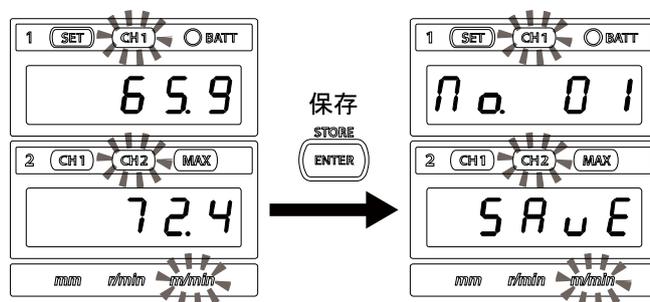


4.5 計測値を保存する

“STORE” スイッチを押すと、その時のホールドデータ (CH1/CH2)、最大値 (MAX) が最大 10 組本体に保存されます。保存が行われると上段表示部に保存番号 “No. XX” が、下段表示部に “SAvE” 1 秒間表示されます。

【注意】 11 組以上のデータを保存しようとするすると、1 組目に戻って上書きが行われます。保存したデータが消えてしまいますので、ご注意ください。

※保存されたデータは設定モードでの読み出しが可能です。



4.6 保存データの読み出し

保存したデータは“MENU” スイッチを押して設定モードに切り替えて読み出します。

※ 12 ページ「3.2.2 保存データの読み出し」を参照してください。

5. エスカレータの計測（オプション）

5.1 概要

オプションの距離計測機能を組み込むことで、エスカレータの非常停止距離の測定が行えます。非常停止ボタンが押されてから実際にエスカレータが停止するまでにどれだけ動いたかを計測します。
 ※ 距離計測機能オプションが組み込まれていないと“mm”の単位は表示されません。

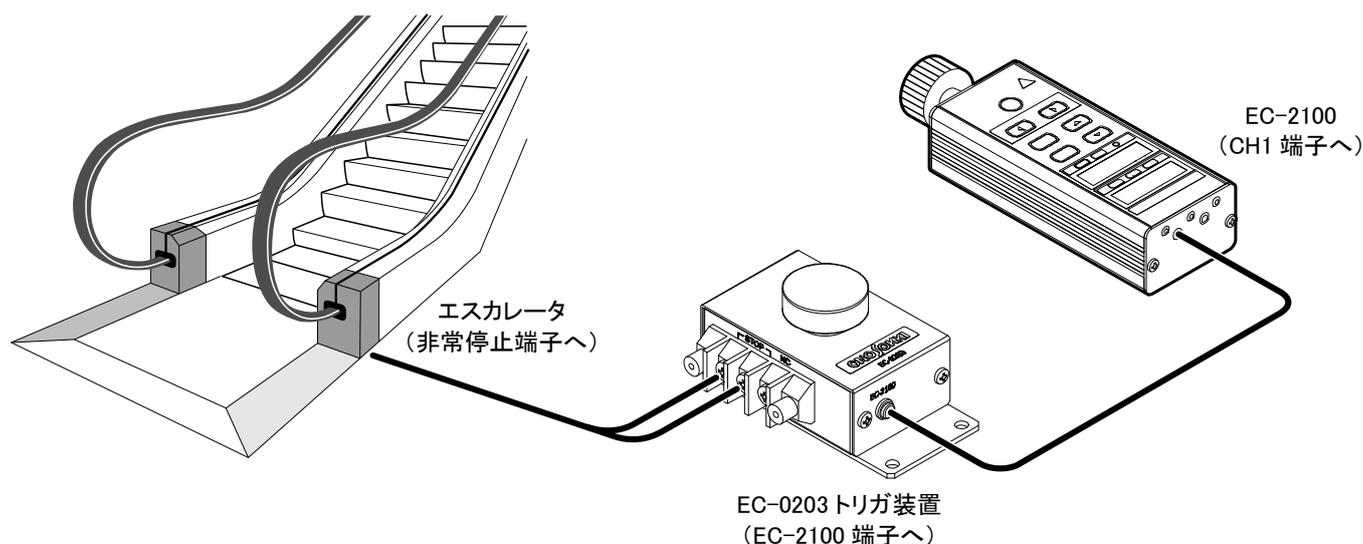
5.2 準備

5.2.1 周速リングの取り付け

エスカレータのハンドレールでの計測を行う場合はゴム状周速リング（KS-0800）が適していますが、他にも周速リングを準備しておりますので、必要に応じてお選びください。
 周速リングの種類や取り付けなどについてはエレベータの計測の項をご覧ください。
 ※ 15 ページ「4.1 準備」を参照してください。

5.2.2 トリガ装置の接続

オプションの EC-0203 トリガ装置を使用すると、トリガ装置のスイッチ操作でエスカレータの非常停止と EC-2100 の計測スタートを同時に行うことができます。
 トリガ装置（EC-0203）を使用する場合は、EC-2100 の“CH1”端子とトリガ装置の“EC-2100”端子およびトリガ装置の“STOP”端子とエスカレータの非常停止端子を接続します。



5.3 基本計測

5.3.1 単位の設定

電源を投入し、単位を“mm”に設定します。

単位の設定については設定モード解説の項をご覧ください。

※ 12 ページ「3.2.1 単位設定」を参照してください。

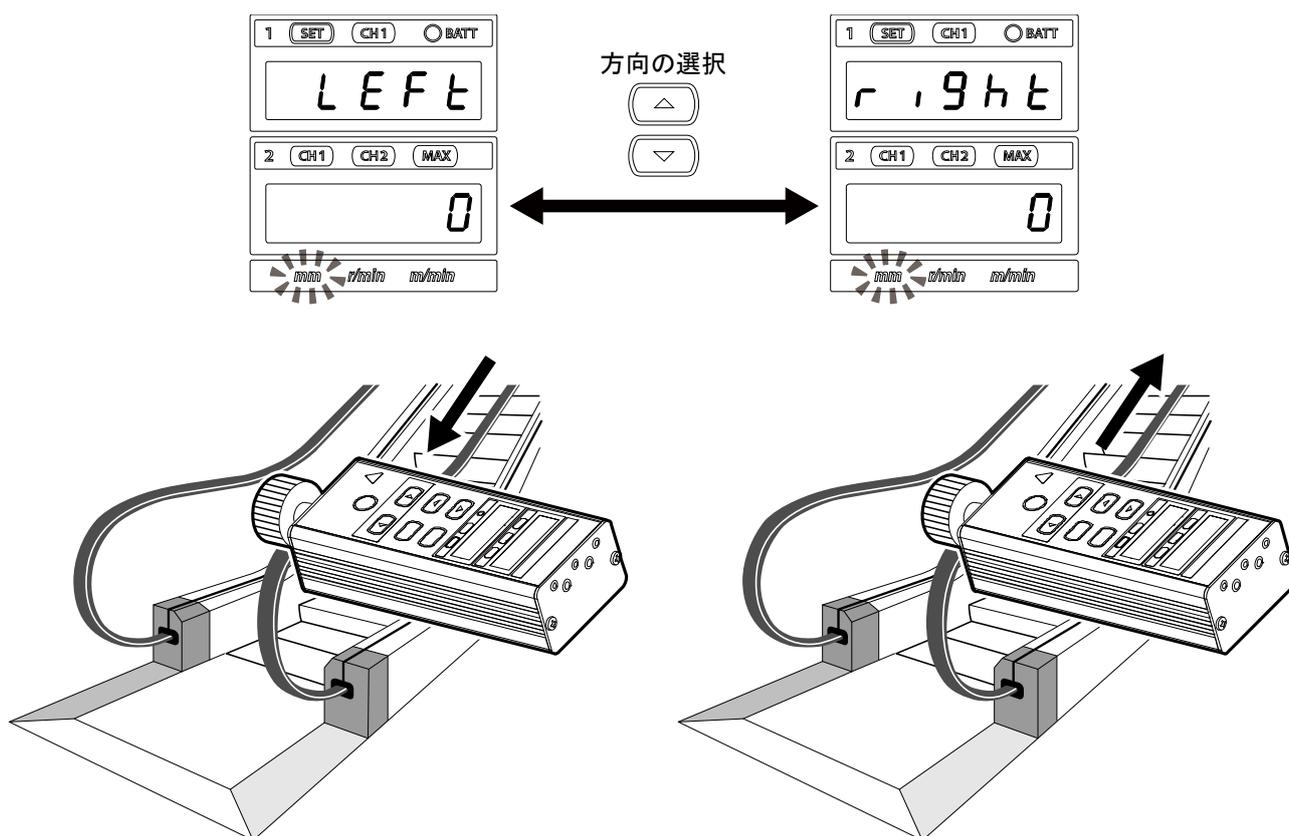
5.3.2 計測方向の設定

単位“mm”を設定後に“MENU”スイッチを押して計測モードに戻ると、距離計測が可能な状態となります。

この状態で“△ ▽”スイッチを押すと距離計測の方向性が選択できます。

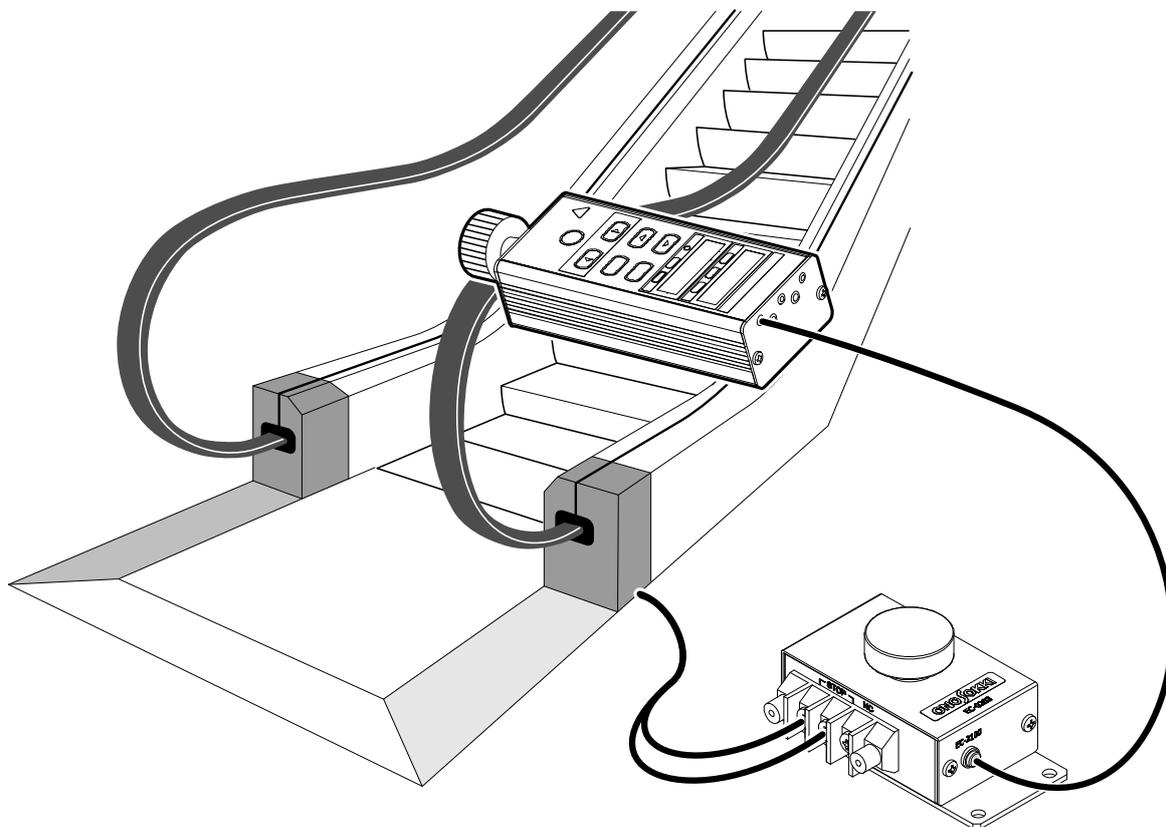
エスカレータのハンドレールにエレベータ速度計の周速リングを押し当てる場合に、ハンドレールの流れ方向が右の場合には“right”、左の場合には“LEFT”を選択します。

計測値はその流れの方向設定に対して“+”、逆方向に対して“-”の極性を持って表示されます。

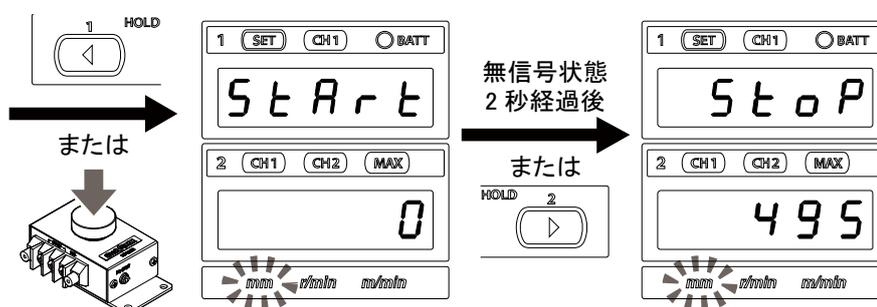


5.3.3 計測の開始・停止

EC-2100 エレベータ速度計をエスカレータのハンドレールに押し当てた状態で、“CH1”スイッチもしくはトリガ装置のスイッチを押すと計測が開始されます。



2秒間周速リングが回転しないと自動的に計測を停止しますので、エスカレータの停止後もそのまま2秒以上本体を保持してください。この間に周速リングが回転した距離が下段表示部に表示されます。また“CH2”を押しても計測を終了することができます。

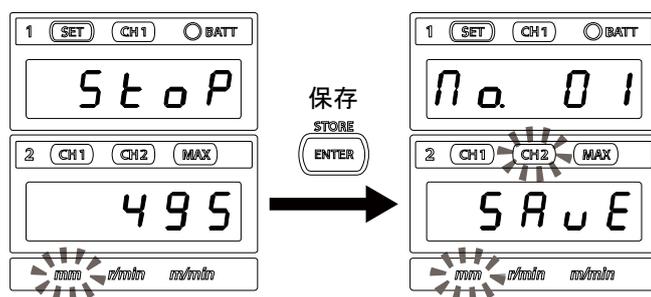


5.4 計測値を保存する

“STORE”スイッチを押すと、その時の計測方向・極性・計測値が最大10組本体に保存されます。保存が行われると上段表示部に保存番号“No. XX”が、下段表示部に“SAvE”1秒間表示されます。

【注意】 11組以上のデータを保存しようとする時、1組目に戻って上書きが行われます。保存したデータが消えてしまいますので、ご注意ください。

※保存されたデータは設定モードでの読み出しが可能です。



5.5 保存データの読み出し

保存したデータは“MENU”スイッチを押して設定モードに切り替えて読み出します。

※ 12 ページ「3.2.2 保存データの読み出し」を参照してください。

6. 仕様

6.1 計測部

方式	: 接触方式
測定範囲	: 速度計測 ; 0.1~2,000.0 (m/min) 回転速度計測 ; 1~20,000 (r/min) 距離計測 (別売) ; 0~±999 (mm) ※ ±5000mm まで測定します。 ただし±999mm 以上の計測値は保証できません。
測定精度	: ±1 カウント
測定時間	: 10 ms
測定単位	: m/min、r/min、mm (mm は別売)
オートパワーオフ機能	: 最終操作から 180 秒後パワーオフ
計測値ホールド機能	: CH1 CH2 最大値 各独立
平均化機能	: 任意設定 1~200 回
メモリ機能	: 計測結果を最大 10 組本体へ保存可能

6.2 検出部

発生パルス数	: 150 パルス / 1 回転 スリット反射方式
発光源	: 赤外発光ダイオード
受光素子	: フォトダイオード
許容荷重	: ラジアル方向 5 kg、スラスト方向 5 kg
ベアリング寿命	: 2×10 ⁷ r/min・h (仕様内最大荷重時)

6.3 表示部

表示器	: 5 桁 赤色 7 セグメント LED 2 段表示
更新時間	: 100 ms
分解能	: 0.1 (m/min : 平均回数 10 以上) 1 (r/min : 平均回数 10 以上) 1 (mm)

6.4 アナログ出力部

出力内容	: 瞬時値 平均処理した結果を出力する
電圧範囲	: 0~F.S. / 0~1 V
変換方式	: 10bit D/A 変換方式
リニアリティ	: ± 1 % F.S.
出力更新時間	: 10 ms
出力コネクタ	: $\phi 2.5$ ピンジャック

6.5 パルス出力部

出力方式	: トランジスタ出力 (オープンコレクタ)
耐電圧	: 14 V
パルス数	: 600 / 1 回転
論理	: 負論理
パルス幅	: 約 0.5~1.2 μ s
出力コネクタ	: $\phi 2.5$ ピンジャック

6.6 一般仕様

電源	: 単 3 形乾電池 : 3 本
電池寿命	: 連続使用時間 : 15 時間以上
消費電流	: 最大 100 mA (電源電圧 4.5 V 時)
使用温度範囲	: 0~45 °C
保存温度範囲	: -10~60 °C
寸法	: 60 (W) \times 162 (H) \times 38 (D) mm [前機種 EC-900 と同じ]
質量	: 約 423 g (電池込み、周速リング含まず)

6.7 付属品

外部ホールド用信号ケーブル (1.4 m)	: EC-0922 1 組 (2 本)
キャリングケース	: EC-0925 1 個
六角レンチ (対辺 1.5 mm)	: 1 本
単 3 形乾電池	: 3 本